

令和4年度きのくにコミュニティスクールの推進に係る研修会 【高等学校の部】 まとめ

日 時 : 令和4年6月30日(木) 13:30~16:00

開催方法 : オンライン開催(Teams) 参加者: 46名

テ ー マ : 「学校運営協議会の可能性

～コミュニティ・スクールで高校を魅力化する～」

講演「きのくにコミュニティスクールのセカンドステージに向けて
～学校運営協議会の活性化と校内における推進～」

文部科学省総合教育政策局CSマイスター

神奈川県立総合教育センター教育相談専門員

元神奈川県立市ヶ尾高等学校長

増淵 広美 氏

○ 「学校評議員から学校運営協議会へ」

委員の選定

- ・校長のビジョン・経営方針に沿った人材
- ・当事者意識をもって参画してくれる方
- ・ともにアクションを起こしてくださる方

「熟議」の活性化

- ・テーマの明確化
- ・経験や強みを生かした対等な立場での熟慮と議論
- ・ファシリテーションスキル

「協働」によるアクション

- ・熟議結果の具体化(学校経営、教育活動等への反映)
- ・小さな成功の積み重ね
- ・校内・校外への発信(情報共有、理解の広がり)

年度当初に

年間開催日程を設定



調整業務の削減



出席率の上昇



「学校運営協議会」
自体も自己評価を
行うことで
さらなる充実を!

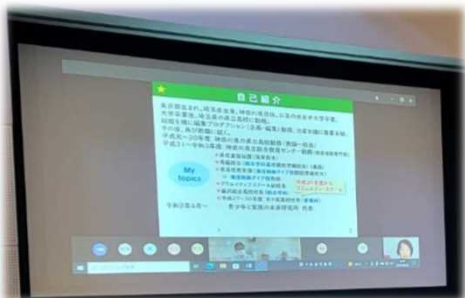
○ 「熟議」 を生かすために

熟議とは？

- ・多くの当事者が「**熟慮**」と「**議論**」を重ねながら、**共通認識**・**課題解決**をしていくこと

具体的には

- (1) 多くの当事者（学校・保護者・地域住民等）が集まって
- (2) 課題について学習・熟慮し、議論することにより
- (3) 互いの立場や果たすべき役割への理解が深まるとともに
- (4) 解決策が洗練され
- (5) 個々人が納得して自分の役割を果たすようになるというプロセス



何のためにするのか？

- ・お互いの**立場や役割を理解**し、次第に**解決策が洗練**され、**誰もが納得して自分の役割を果たす**ことができるため



熟議の仕方を考えてみる

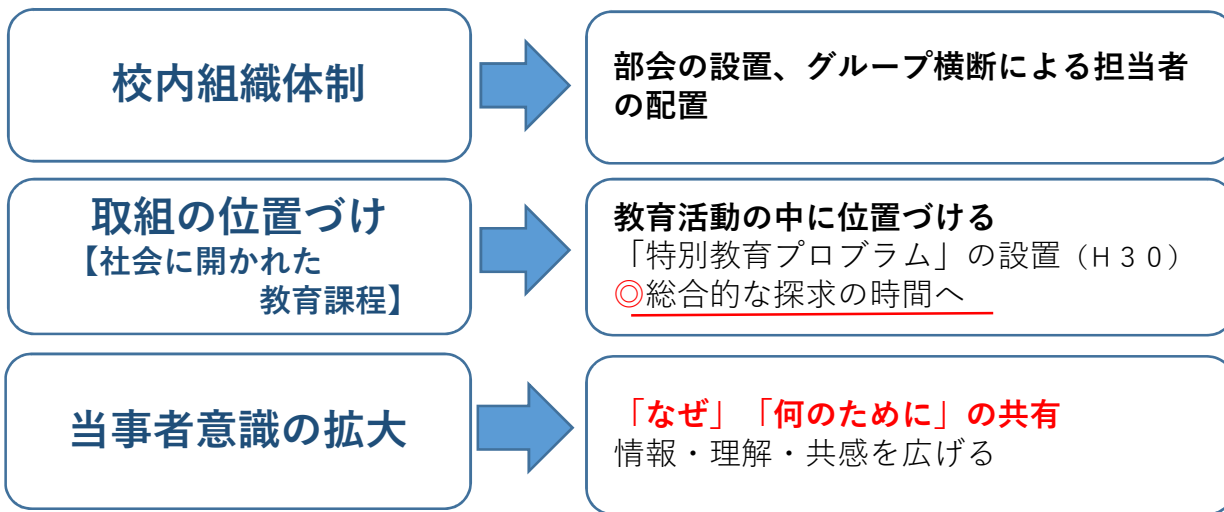
- ・なごやかで安心な雰囲気をつくる
- ・人の話をよく聴く
- ・否定や批判をせずに、ポジティブな流れをつくる
- ・いろいろな意見は宝・多様性はイノベーションの源泉
- ・付箋・ホワイトボード・模造紙・短冊を利用することも
- ・時には子どもの参画も

熟議に決まった
「型」はない！

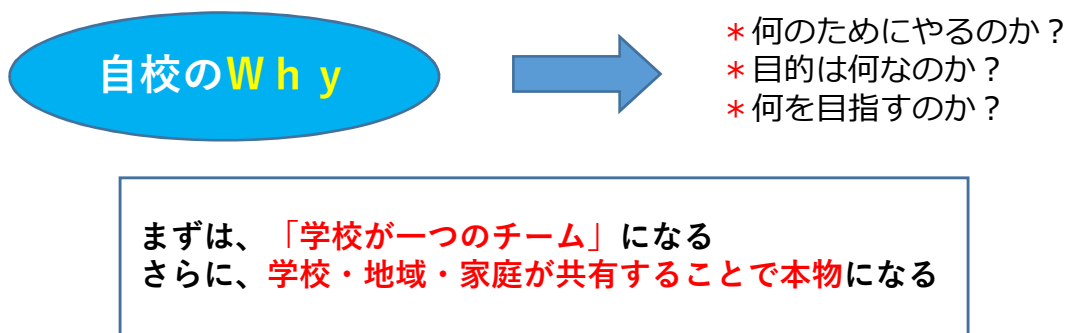
熟議≠グループワーク

「熟議」は**ツール**！「熟議」の**プロセス**と**後のアクション**が大切！

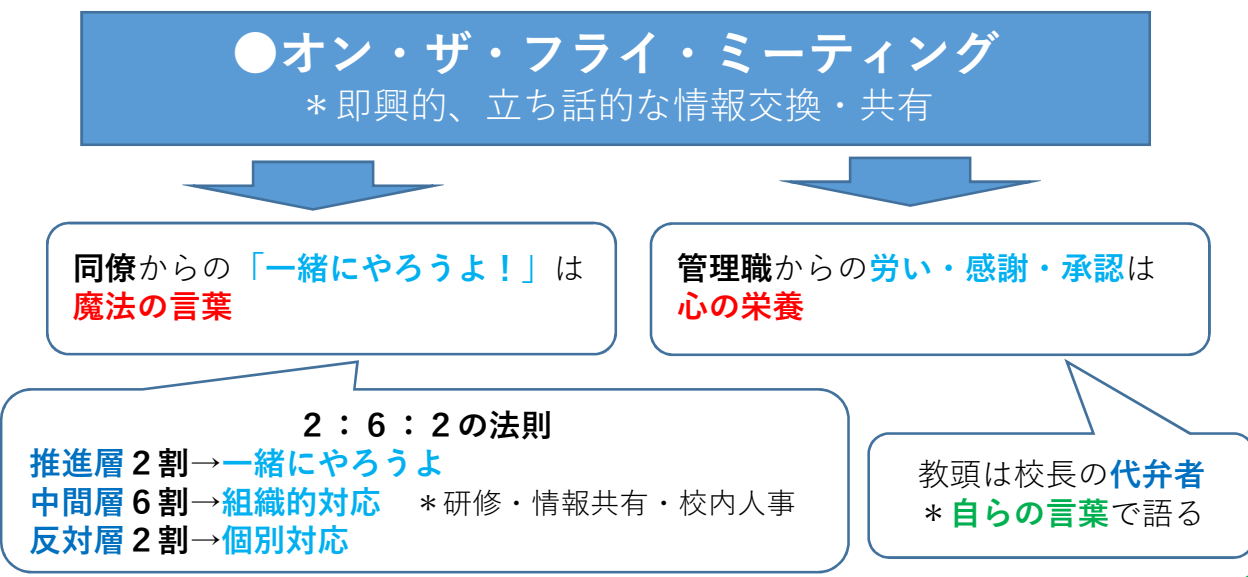
○校内における推進のポイント（市ヶ尾高校の事例から）



○「なぜ」「何のために」の共有が大切

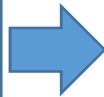


○職場の豊かなコミュニケーションから始めよう



○高校進学率99%が意味すること

高校進学率99%



高校は子どものほぼ全数を把握できる最後の教育機関である。

つまり

コミュニティ・スクールの仕組みを生かすことで、**困難を抱える子どもたちへ複層的、重層的な支援の可能性**を広げることができる

○コミュニティ・スクールのセカンドステージに向けて

第2ステージ・2つのポイント

①学校運営について**熟議**し・共に責任を持ちそれぞれの立場で働く

②「**社会に開かれた教育課程**」実現のために地域との連携・協働につなげる

誰かが何とかしてくれる、のではなく、自分たちが「当事者」として、自分たちの力で学校や地域を創り上げていく。

子供たちのために学校を良くしたい、元気な地域を創りたい、そんな「志」が集まる学校、地域が創られ、そこから、子供たちが自己実現や地域貢献など、志を果たしていける未来こそ、これからの未来の姿である。平成27年12月中教審答申



小さな変化を大きな変化に！

コミュニティ・スクールは、進化していく！

「今できること」を大切に、バトンをつなぐ！

きのくにコミュニティスクールの推進に係る研修会（高等学校の部）

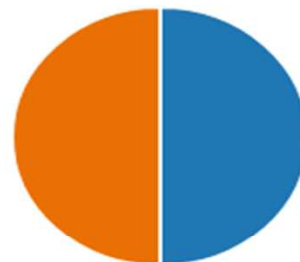
1 役職、担当等について

● 校長	2
● 教頭	23
● 地域連携担当職員	1
● きのくにコミュニティスクール担当職員等	1
● その他	3



2-① 学校運営協議会制度について、理解できた。

● 大いにそう思う	15
● おおむねそう思う	15
● あまり思わない	0
● 思わない	0



2-② コミュニティ・スクールを充実させるための重要なポイントが理解できた。

● 大いにそう思う	15
● おおむねそう思う	15
● あまり思わない	0
● 思わない	0



2-③ 講演会を聞いて、コミュニティ・スクール、地域学校協働活動を一層推進していこうと思う。

● 大いにそう思う	17
● おおむねそう思う	13
● あまり思わない	0
● 思わない	0



3 ご意見・ご感想

講義について

- ・大変わかりやすかったです
- ・多くの経験と実践から学ぶことが多かったです。
- ・実例を交えて話していただき分かりやすかったです。
- ・よくわかる内容で、理解が深まりました。
- ・実践事例に基づいて分かりやすく説明いただきました。
- ・コミュニティ・スクールの意義やあり方について、理解することができました。
- ・大変勉強になり良かったです。
- ・実践事例を踏まえての講義で大変参考になりました。
- ・学校運営協議会と校内職員が情報共有することで、本校の目指すスクールポリシー実現に向けてベクトルを合わせていく事の大切さを再認識できました。
- ・増淵先生の経験による、説得力のある内容が、大変勉強になりました。
- ・具体的な話でわかりやすかったです。
- ・実践に基づいたお話なので具体的で理解が深まりました。これまでは義務教育での実践が多く、「地域」のとらえ方が高校とは違うので参考になりにくかったが、今回はその点がよくわかりました。
- ・校内においては私自身がその担当者になるということに気づかされ、よくわかる内容でした。
- ・CSが評議員会の延長のような形になりがちであり、そこを変えるためにCSの委員と教職員の距離を近く、双方向の交流ができるようにする必要があると強く感じました。
- ・前回も参加したので、大変分かりやすかったです。
- ・校長のリーダーシップをしっかり補佐することが教頭の仕事であり、地域の方々と学校をつなぐために今後も尽力したいです。
- ・コミュニティ・スクールの推進していく上で大変勇気・元気づけられた内容でした。
- ・教職員全体の共通理解を目指したいと思います。
- ・コミュニティ・スクールのうまく活用した例を聞いて非常に参考になりました。
- ・様々な課題解決に利用できると感じました。
- ・本日のご教授いただいたことを参考に取組んでいきたいと思います。
- ・熟議と共有の重要性を再確認できました。深化させる方法もさらに考え実践したいと思います。
- ・増淵先生の実践されたお話で、教職員と委員が躍動するCSのお話は大変刺激になりました
- ・非常にわかりやすく、理解が進みました。また、委員の方々に当事者意識をもってもらえるための仕掛けを考えたいと思います。
- ・大変ポイントがわかりやすく、学校運営協議会のあるべき姿がよくわかりました。
- ・委員の構成メンバーが非常に重要と再認識しました。承認にとどまる事なくレッツが良くわかりました。
- ・好事例ではあるが、苦勞して乗り越えられた内容や方法なども知りたいです。（特に校内）
- ・学校運営協議会を有効に活用するための方向性について学ぶことができました。

グループ協議について

- ・他校の状況等、参考になりました。
- ・様々な考えに触れられて、有意義でした。
- ・具体的な話が聞けるのでよかったです。
- ・オンラインということで若干戸惑いがありましたが、充実した協議でした。
- ・近隣校の取組を具体的に知ることができました。
- ・他校の取組など聞いて、参考になりました。
- ・他校の様子を聞くことができ、参考になりました。
- ・各校からでた取組が参考になり、校長と協議し、取り入れていくかどうかを判断する材料ができ、よかったです。
- ・適切な時間配分であった。オンラインでも十分協議できました。
- ・短時間ながら、ポイントを絞り議論できました。
- ・皆さんが同じような点で悩んでいることがわかりました。同じような課題を持つ学校同士で協議することもいいのではないかと思いました。
- ・どのグループも同じように職員への共有を挙げられていたが、確かにその通りで今まで気がつきませんでした。
- ・他校でも何かしらの変化を加えている様子がうかがえました。
- ・短い時間だったが、意見を出すことができました。他のグループの意見も参考になりました。
- ・テーマをしぼることが重要で、PTA活動と似ているところもあるが魅力ある学校となるよう工夫していきたいです。
- ・各校における実情及び実践内容はとても参考になりました。
- ・他校の様子が聞いて参考になりました。
- ・どの学校も現状、課題は似ていると感じました。それぞれの学校の運営協議会について聞いたことは有意義だった。
- ・教員の思いが反映されるCSであれば、推進に前向きさが現れると考えています。そのための仕掛けを検討したいと考えています。
- ・各校の課題や共通の悩みについて熟議ができて一歩前進できました。他校の取組も聞くことができ、大変参考になりました。
- ・教職員へ周知することの重要性がわかりました。
- ・他校の学校運営協議会の運営方法なども聞くことができ、参考になることが多かったです。
- ・熟議の大切さが体験できました。
- ・ミーティングルームとチャットを併用したグループ協議であったが、協議しやすかったです。チャットでお互いの発言が残るので、整理しやすかったです。

全体を通して

- ・少しずつ実践に生かしていきたいです。
- ・高校の枠を越えた、複数の高校でのコミュニティ・スクールがあってもいいなと思いました。
- ・協議会と校内をつなぐ手立てがポイントと感じました。
- ・職員に対して、「労い・感謝・承認」の言葉をかけ続けることが大切だと感じました。
- ・委員の選考から取り組んでみたいと思いました。
- ・本校の現状について、課題は山積ですが、少しずつできることからやっていこうと思います。
- ・オンラインでのグループ会議が新鮮でした。
- ・様々な角度から取組について説明いただき、良い刺激になりました。今後の学校運営に活かしていきたいです。
- ・今後、学校運営に生かせるきっかけを掴めたように思います。
- ・教員・生徒をどのように巻き込んでいくかが大切だとわかりました。
- ・何をやるにしても多忙感が否めない毎日であることをよく聞きますが、仮に新たな時間を割くとしてもやりがいを感じる方法を見つけ出していきたいと思います。
- ・学校運営協議会委員も学校職員の一員という意識を教職員が持つこと、各委員がご意見番ではなく当事者として対応を一緒に考える、という意識を持ってもらうことが必要だと感じました。
- ・学校全体の協力が必要だと思いました。
- ・県内の各校で「取り組み続けること」が学校と地域をつなげ、学校の魅力化、地域の魅力化を発信することで安全・安心なまちづくり、学校づくりとなるよう実践・研究していきたいです。
- ・本日の講義・協議を受け、本校の課題解決に向けて、管理職として具体的成果を挙げられるよう取り組みたいと思います。
- ・地域の方々との協働を進めていくことが学校の特色化ならびに発展に繋がるので、地域の思いを大切に生徒、教職員でありたいと思いました。
- ・とても有意義な研修になりました。早速、出来ることから取り組んでまいります。
- ・まだまだこれからといった感じがしています。きちんと軌道に乗せるべく努力が必要であると感じていますが、共に努力する仲間を増やしていきたいと思います。
- ・地域の持っている教育力をマッチングさせたいと思いました。
- ・学校運営協議会の組織編成が重要であると感じました。
- ・学校運営協議会の活性化が今後のキーになることを再認識しました。学校全体及び委員の皆さんに当事者意識をもってもらうこと、委員の選定が重要であることが分かりました。